

同窓会
Journal!

01

同年代のチェックは厳しい!

同窓会で、あなたは ここを見られています。

久しぶりに同級生と会う場で、自分がどう見られるのか楽しみでもあり怖くもあり。そんな同窓会を目前に控えた50代に、ファッションや美容界の賢人たちが鋭い視点からずばりアドバイス。これを参考に会場の視線を集める女性を目指して。

撮影/大河内 禎 取材・文/河野真理子

肌のハリやツヤをキープすることが、
50代からの最重要課題。

中野あおいさん あおいクリニック銀座院長

私のクリニックには、同窓会に出席する前に肌のメンテナンスをしておきたいという50代のクライアントの方が多くいらっしゃいます。それはある意味とても理にかなっていること。肌が衰えてくるとただファンデの厚塗りや難点を隠す、という方向に行ってしまうがちですが、それでは余計に老け感を増長させてしまふ。それよりも、本来の「地肌力」を高める「ツヤやハリ感のある肌を目指す」というほうが賢明だからなんです。

実際、プロのヘアメイクさんは誰もが皆、「年を取るほどファンデは薄づきに仕上げ

るのが鉄則」だとおっしゃいます。美肌を作るのはもちろん日頃から自分でお手入れをすることでもかなうはずですが、努力するよう心がけて、それから私が20代のころ、久しぶりの同窓会に出席したという50代の知人男性に言われているのが、「女性の年齢というのは肘や膝に出る」という言葉。細部まで丁寧ケアするということも、この年代こそ大事ですよ。

なかの・あおい★'03年にクリニックを開設。美容関係者や著名人など美意識の高い人々の支持を集めている。本人も年齢不詳の美魔女。